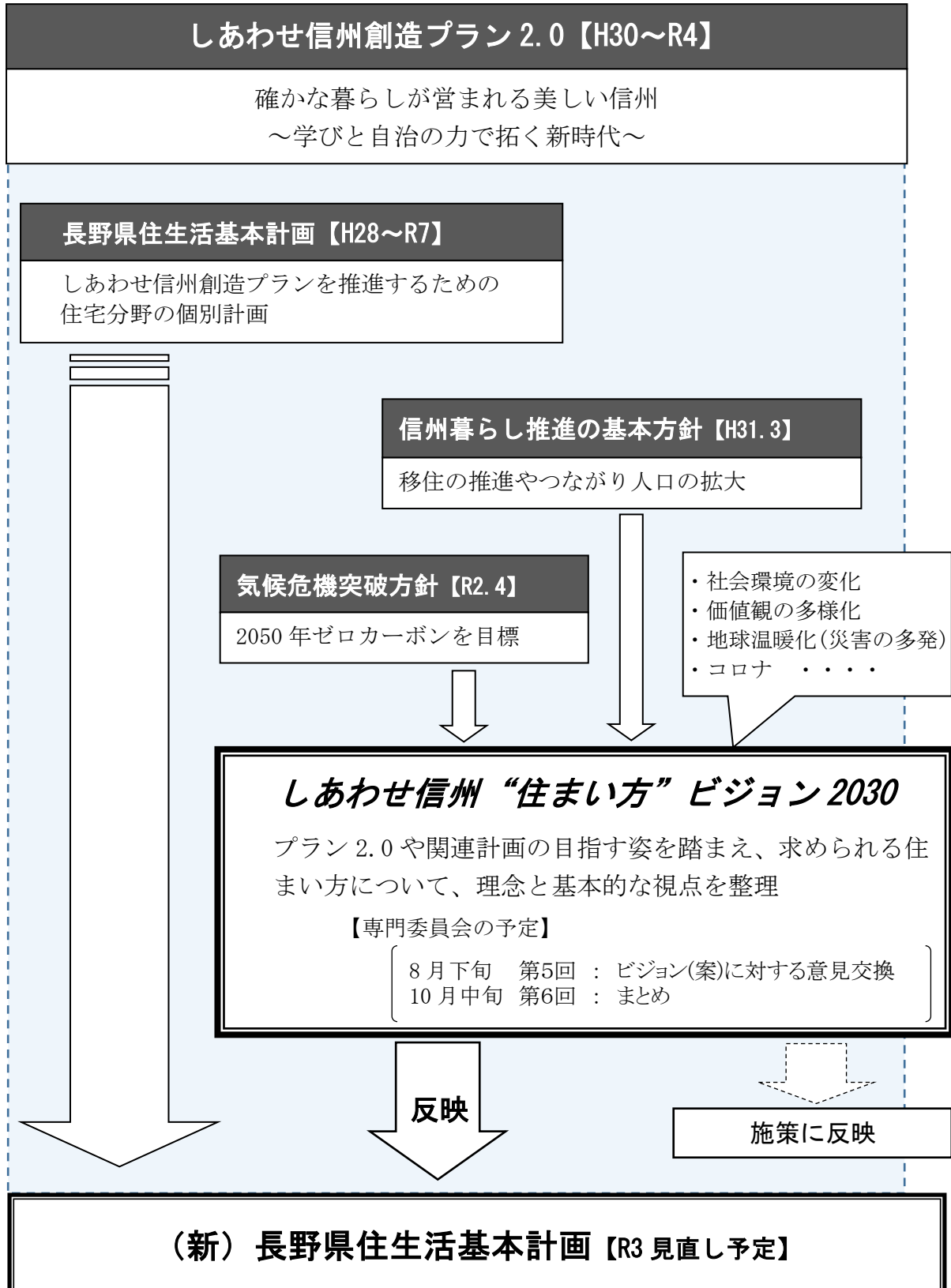


# しあわせ信州 “住まい方” ビジョン 2030 の位置づけ

建築住宅課

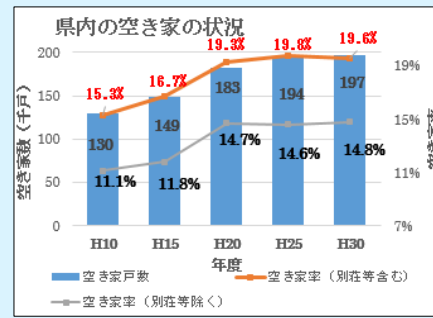
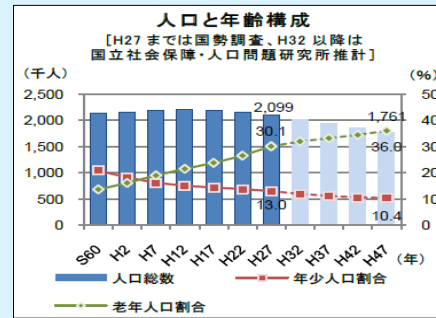


# 信州の多様な住まい方検討事業【検討経過】

## I 住まいを取り巻く現状と課題

### 1 住まいを取り巻く環境が大きく変化

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・空き家の増加と都市・集落のスポンジ化
- ・省エネ・耐震等の性能基準の見直し
- ・ライフスタイルの多様化
- ・都市と田舎の関係性の変化
- ・家族のあり方の変化



### 2 活かしたい『信州の環境と資源』

- ・すぐれた自然・歴史・風土・文化
  - ・首都圏等からのアクセスの良さ
  - ・身近な自然環境
  - ・受け入れ力 等
- 移住したい県 (個人の変化に追従可、移住者、起業応援) 14年連続No.1

### 3 関連する『現行計画』等

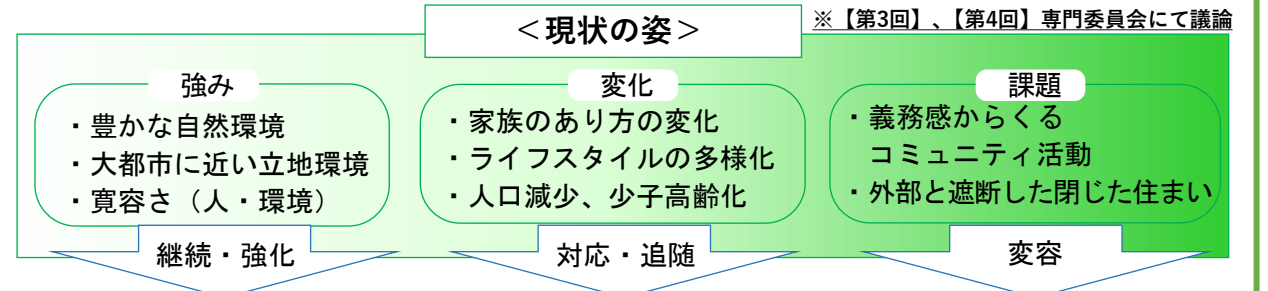
- ・しあわせ信州創造プラン2.0 (H30~R4)
- ・長野県住生活基本計画 (H28~R7)
- ・長野県都市計画ビジョン (H31年3月改定)
- ・信州暮らし推進の基本方針 (H31年3月策定)
- ・SDGs未来都市 (H30年6月)
- ・気候非常事態宣言 (R1年12月)

<検討を行ううえでの整理>

- ・住宅施策全般に係る検討は住生活基本計画の見直しで実施予定
- （県産材、省エネ、セーフティネット、高齢者・健康関係 等）

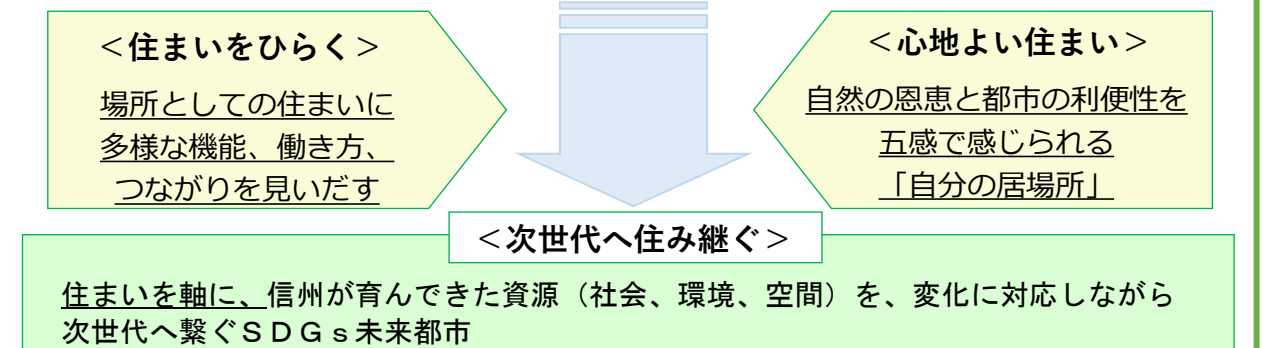
## III しあわせ・豊かさを感じる『信州の多様な住まい方』とは

※【第3回】、【第4回】専門委員会にて議論



### <視点>

- ◇「信州らしさ」を前面に  
環境エネルギーが一つの柱(ゼロカーボン) 信州らしいZEHのあり方  
自然が近く、大都市からアクセスの良さなど、信州の強みを前面に
- ◇「新たなコミュニティやつながり」のあり方  
同じ価値観でつながる新しいコミュニティ像(既存の形骸化したコミュニティでない)  
地域における多様なコミュニティが重なる場や魅力的なアクティビティの創出  
地域にひろく住まい方
- ◇「豊かさ、幸せ」の再定義(幸せのパラダイムシフト)  
人や地域とのつながりを重視(お金でない) 家と仕事以外の自分の居場所  
地域や社会に必要とされているという一人ひとりの自覚と満足感、帰属意識
- ◇「住み心地、心地よさ」の追求  
五感で感じる心地よさ 居心地のいい信州
- ◇ライフスタイルや世帯の変化に対応可能な「住まいの多様性」  
住み替え、住みこなし 住まいの流動性 二地域居住 セーフティネット



### 「信州ならではの魅力的な住まい方」を目指して

**魅力的な住まい方の事例発信**  
(例)・自宅にゲストハウスを併設  
・シェアハウスを運営  
・空き家を活用して起業支援の場を提供 等

**多様なレイヤが重ね合わさる**  
・サードプレイスの創出  
・機能が重なる(住む・働く・学ぶ・遊ぶ)  
・世代が重なる(学生・社会人・シニア)

**地域とのつながりを生み出す**  
・地域内循環(雇用、経済、エネルギー)  
・バイオマス 等

どのような住まい方が必要か

どのような取組が必要か

## II 専門委員会による検討、意見聴取等

### 1 専門委員会

豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根差したこれからの時代に相応しい「信州の多様な住まい方」とは...

#### 【第1回】信州の良さ・信州らしさとは

- <人に起因するもの>
- ・コミュニティの心地よさ
  - ・人とのつながり・人の良さ
  - ・様々な年代、シチュエーションを包み込む多様性
  - ・様々な思いを叶える懐の深さ 等
- <立地に起因するもの>
- ・まちと自然のちょうどよい距離感
  - ・都会と田舎とのハイブリッドな生活 等

#### 【第2回】信州らしい暮らし・住まい方とは

- <地域とつながり、支え合う>
- ・コミュニティを積極的に作り出していく環境整備(空き家・古民家等を活用)
  - ・住まい開き、地域外の者を受け入れ(新たな暮らし、まちづくり共創)
  - ・地縁・血縁を超えた創造的なコミュニティの創出
  - ・空間資源のミスマッチの解消 等

### 2 信州の住まい方コンクール

- ・募集期間：R1.7~8
- ・事例部門：住宅の実例
- ・提案部門：住まい方の提案



### 3 県民ワークショップ

- ・第1回(R1.8) 政策対話  
テーマ：信州の多様な住まい方
- ・第2回(R1.9)  
テーマ：空き家等の活用方法

### 4 県民アンケート

- ・回答者数：約1,000人
- ・主な質問(信州の住まい)  
住宅の種類、地域交流、暮らし方  
不便な点、優先事項、居住地 等

# しあわせ信州“住まい方”ビジョン2030（案）

豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根差したこれからの時代にふさわしい「信州の多様な住まい方」とは

## 住まいを取巻く環境の変化（3つの変化）

- **社会環境の変化**
  - ・人口減少、少子高齢化の進展
  - ・空き家、空き地の増加と都市のスポンジ化
  - ・家族のあり様の変化
- **自然環境の変化**
  - ・地球温暖化に起因する災害が頻発
- **価値観の多様化**
  - ・ライフスタイルの多様化
  - ・都市と田舎の関係性の変化
  - ・アフターコロナ

右肩上がりの経済成長や人口構造を前提とした旧来型の社会システムは、もはや通用しなくなりつつあります

環境の変化に対応した、これからの時代にふさわしい住まい方とは・・・

豊かさ、しあわせを感じられる「住まい方」を実現

## 育まれた資源を次世代に住み継ぎ 持続可能な地域社会を実現！！

### 豊かさ・しあわせの パラダイムシフト

### ひろく・つながる

【お金だけではなく、“しあわせ”の再定義】

人や地域とのつながりこそが幸せ

地域や社会に必要とされている幸せ

【これまでの地縁・血縁だけによらない新たなコミュニティのあり方】

これからの「住まい方」を考える上での  
**<5つの視点>**

【住まい方は、「生き方」、「暮らし方」、「働き方」と密接に関係】

### 居心地・心地よさ

【数値だけでは語れない良さがある】

五感で感じる心地よさ

居心地のいい信州

### 住みこなす

【多様な価値観を受け容れる住まいの多様性】

ライフスタイルの多様化に対応

世帯の変化に対応

働き方の多様化に対応

### 信州らしさ

（信州の強み）

【この信州でこそ実現できる暮らしがある】

## 信州らしさ（魅力・特色）

他県に誇れる「信州の強み」を最大限に活かします

移住したい県  
14年連続No.1

### ■ 恵まれた立地条件

- ・豊かな自然や美しい景観
- ・大都市圏からのアクセスの良さ
- ・まちと自然のちょうどよい距離感

### ■ 受け容れ力（寛容さ）

- ・コミュニティの心地よさ
- ・人とのつながり、人の好さ
- ・おすそわけ、結、お互いさまの文化

### ■ その他

- ・健康長寿
- ・多様な個性を持つ地域

## これからの信州に求められる 豊かさ、しあわせを感じられる「住まい方」（3つの提案）

### I 環境や健康にやさしく安全な住まい【住まいの姿】

健康・エコで居心地の良い持続可能な住まいで暮らします

- ・信州の環境に抱かれ心地よさを五感で感じる住まい
- ・ゼロカーボンと健康長寿に資する住まい（信州版ゼロエネルギー住宅）
- ・地消地産による持続可能な地域内循環に寄与する住まい
- ・災害ハザードエリアからの回避と強靱な備えの住まい

### II 多様な変化やニーズに対応した住まいの選択【住みこなす】

ライフスタイルやライフステージに応じて柔軟に住みこなします

- ・家族の変化やニーズに応じた住み替え等で生活がより豊かに
- ・住まいが、住むだけでなく、働く、学ぶなど多様な機能を発揮（アフターコロナ）
- ・都市の利便性と自然の豊かさを享受するハイブリッドな生活を実現（二地域居住、リゾートテレワーク等）
- ・多様な世帯が地域で共生できる新たな住まいのかたち（シェアハウス等）

### III 地域や社会にひらかれつながり ささえあう暮らし【コミュニティ】

多くの居場所があり、人や地域との交流で、豊かに暮らします

- ・地縁、血縁だけでなく、価値観でつながるコミュニティ
- ・自宅と仕事場以外の自分の居場所を確保
- ・適度に地域にひらかる住まいで、ゆるやかに近隣と繋がる暮らし
- ・人や地域とつながるためのコミュニティハブが身近に存在

## 役割分担

### 県

#### ■ 情報発信

- ・県民、事業者とビジョンを共有し、その実現に取り組む
- ・魅力的な住まい方とともに、多岐にわたる支援策を一元化して発信

#### ■ ビジョン実現の環境整備

- ・サードプレイスの創出支援
- ・新たなコミュニティ像の提示
- ・信州らしい住まいの指針作成

### 事業者

#### ■ 県民への提案

- ・ビジョンを具現化する住まい方の提案

#### ■ 他分野企業の連携による推進

- ・住宅建設業者のみならず、様々な分野の企業と連携・協調した推進体制の構築

### 県民・移住者

#### ■ 信州らしい住まい方の実践

- ・次世代につなぐ信州の魅力の維持向上
- ・移住者の地域への円滑な溶け込みや受け入れ



## 住まい方ビジョンを具現化するための方策・取組（素案）

令和2年8月4日 建築住宅課

提言	取組の方向性
<p>I 環境や健康にやさしく安全な住まい</p> <p>【住まいの姿】</p>	<p>○信州らしいゼロエネルギーの住まい（づくり）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ性能、創エネ、建築計画の工夫</li> <li>・工務店等の技術力の強化</li> <li>・健康面のエビデンス発信</li> </ul> <p>○コンパクトなまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの観点からの住宅の立地誘導</li> </ul> <p>○将来世代に継承できる安全な住宅ストックの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ハザードエリアからの回避、レジリエンス機能の向上（発電＋蓄電池）</li> </ul>
<p>II 多様な変化やニーズに対応した住まいの選択</p> <p>【住みこなし】</p>	<p>○多様な住まい方の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチステージ、テレワーク、住み替え等の実践事例を発信する HP サイトの構築</li> </ul> <p>○既存ストックの多様な活用等によるアフターコロナの需要の取込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟な働き方を可能とする住まいの提案</li> <li>・リモートワークやコワーキングスペースの整備促進</li> <li>・二地域居住の需要の幅広い取込み（良質なストックの流通、シェアリング、サブスクリプション住宅※）</li> </ul> <p>○ライフステージに応じた住替えに向けた環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い住宅の流通の促進、消費者が安心して既存住宅を購入できる取引環境の整備</li> </ul>
<p>III 地域や社会にひらかれつながり ささえあう暮らし</p> <p>【コミュニティ】</p>	<p>○多様な住まい方の情報発信（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先駆的実践者の事例、建築計画の工夫を発信する HP サイトの構築</li> </ul> <p>○コンパクトなまちづくりの推進（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの観点からの住宅の立地誘導</li> </ul> <p>○多様な世代が地域で共生できる環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家・空き地を活用したサードプレイス等の創出支援</li> <li>・子育て、見守り、生活相談など家族機能を補完する環境整備</li> <li>・シェアハウスなど新たな住形態への支援</li> </ul>

※定額制による住まいの提供サービス